

ITU-T SG5 会合 課題別対処方針

資料 2-伝-1-SG5-WP2-Q1-課対	Q.1 対処方針
資料 2-伝-1-SG5-WP2-Q2-課対	Q.2 対処方針
資料 2-伝-1-SG5-WP2-Q3-課対	Q.3 対処方針
資料 2-伝-1-SG5-WP1-Q4-課対	Q.4 対処方針
資料 2-伝-1-SG5-WP1-Q5-課対	Q.5 対処方針
資料 2-伝-1-SG5-WP1-Q6-課対	Q.6 対処方針
資料 2-伝-1-SG5-WP2-Q8-課対	Q.8 対処方針
資料 2-伝-1-SG5-WP1-Q9-課対	Q.9 対処方針
資料 2-伝-1-SG5-WP1-Q10-課対	Q.10 対処方針
資料 2-伝-1-SG5-WP1-Q11-課対	Q.11 対処方針
資料 2-伝-1-SG5-WP2-Q12-課対	Q.12 対処方針
資料 2-伝-1-SG5-WP1-Q13-課対	Q.13 対処方針
資料 2-伝-1-SG5-PLEN-Q14-課対	Q.14 対処方針
資料 2-伝-1-SG5-WP1&2-Q15-課対	Q.15 対処方針
資料 2-伝-1-SG5-WP2-Q16-課対	Q.16 対処方針

ITU-T会合への課題別対処方針

(会合名:ITU-T SG5 第二回全体会合)

提出元: 日本代表团

課題番号	課題名	原題	EMC issues arising from the liberalization of telecommunications networks
1		和訳	通信ネットワークの自由化によって発生するEMC問題
WP2	ラポータ名(所属)		Mr. Fantao MENG (Huawei, China) / Associate: Li XIAO (China)
課題の内容: 通信の自由化によって発生するEMC問題として、電気通信網の相互利用(コロケーション、アンバンドリング)に関連するEMC課題の検討と既存勧告のメンテナンスの実施する。特にアンバンドリングの場合に問題となるケーブルの平衡度の測定方法等について検討する。			
これまでの経緯: 前回の会合において、ケーブルの平衡度(LCL)の測定方法等に関する勧告案K.lclについての審議を優先して行う方針が決定されており、それに関連したK.10のメンテナンスも行われる。また、コロケーション、アンバンドリングに関する勧告K.58,K.59についてもメンテナンスが行われることが了承されている。この他、旧SG6や課題7で検討されていた課題の統廃合についても前回の会合において整理されている。			
今会合での主な検討項目: 今回の会合では、主に、ケーブルのLCLの測定方法に関する勧告案K.lclについて審議が行われ、具体的な検討課題が明確化される予定である。			
他SG、他機関との関連: ITU-R SG1, CISPR, ETSI等			
注意すべき諸外国の動向: なし			
提出寄書: なし			
対処方針: <input type="checkbox"/> A:達成すべき事項あり <input checked="" type="checkbox"/> B:達成すべき事項なし <input type="checkbox"/> C:静観 審議の中心となる勧告案K.lclについては、関連するITU-T勧告G.117やK.10の内容を含め、他の国際標準化機関における検討状況を考慮した上で、具体的な検討課題の抽出を行い、審議を進める。前回の寄書(C57,05-08会期)以降、新たな寄書は提出されていないため、今回、寄書案が提出される可能性がある。寄書が提出され次第、上記観点から内容の検討を行い、技術的な課題が明確になるよう対処する。			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.lcl	新規	Method for measuring Longitudinal Conversion Loss (9kHz - 30MHz)	C37 (05-08)
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2010年			
対処及び今会合での課題: 測定方法の整理, 検討課題の具体化			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.10	改訂	Low frequency interference due to unbalance about earth of telecommunication equipment	
勧告案の合意状況または合意予定時期： 2012年			
対処及び今国会での課題：			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.58	改訂	EMC, resistibility and safety requirements and guidance for determining responsibility under co-located telecommunication installations	
勧告案の合意状況または合意予定時期： 2012年			
対処及び今国会での課題：無線基地局のコロケーション環境における問題			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.59	改訂	EMC, resistibility and safety requirements in unbundled telecommunication cables	
勧告案の合意状況または合意予定時期： 2012年			
対処及び今国会での課題： なし			

ITU-T会合への課題別対処方針
(会合名:ITU-T SG5 第二回全体会合)

提出元: 日本代表团

課題番号	課題名	原題	EMC related to broadband access systems
2		和訳	広帯域アクセスシステムに関するEMC
WP2	ラポータ名(所属)		Darren CARPENTER (BT, UK) / Associate:Victor VELLANO NETO (Brazil)
課題の内容:			
スペクトル拡散技術などの広帯域アクセスシステムによる無線電波への影響と対策方法の検討			
これまでの経緯: 課題Bでは、広帯域アクセスシステムによる無線への影響とその対策方法について検討を実施している。前会合では、K.60の判断レベルを修正する提案がITU-R SG6からリエゾン文書として届き、EBU(ヨーロッパ放送連合)からのメンバが説明を行った。 SG5ではさらに技術的な寄書が提出され、必要があれば議論するという事となった。			
今会合での主な検討項目: ・新たな課題についての検討方針と検討内容について具体的な審議が行われる予定である。			
他SG、他機関との関連: ITU-R, CISPR			
注意すべき諸外国の動向: K. 60の改定に対するITU-R、各国、各国際機関等の動向			
提出寄書: なし			
対処方針: <input checked="" type="checkbox"/> A:達成すべき事項あり <input type="checkbox"/> B:達成すべき事項なし <input type="checkbox"/> C:静観 K.60に関してITU-Rからの寄書が届いた場合には、技術的内容を検討し妥当であれば再検討を行うが、日本の電波法等をふまえた上で、現在のレベルを維持する立場で対応する。			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.eun	新規	Evaluation methodology for radiated emissions from plural broadband access systems under unbundled condition and Guidance for solving radio interference	TD.457, TD.459 (05-08)
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2009			
対処及び今会合での課題: 検討内容について動向把握を行う			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.mit_ng	新規	Mitigation methodology for next generation access systems	なし
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2010			
対処及び今会合での課題: 検討課題について動向把握を行う。			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.pred_b	新規	Prediction method for emission from broadband signals transmitting in a cable	なし
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2011			
対処及び今会合での課題: 検討課題について動向把握を行う。			

ITU-T会合への課題別対処方針

(会合名:ITU-T SG5 第二回全体会合)

提出元: 日本代表团

課題番号	課題名	原題	Human exposure to electromagnetic fields (EMFs) due to radio systems and mobile equipment
3		和訳	無線システム及び移動体による電磁界の人体ばく露
WP2		ラポータ名(所属)	Fryderyk LEWICKI (TP, Poland) / Associate:Tariq AL-AMRI (Saudi Arabia)
課題の内容: 携帯電話、無線システムのアンテナ周囲における電界強度の推定手順、計算方法、測定方法に関する検討			
<p>これまでの経緯:</p> <p>開発途上国から、電磁界への人体のばく露について、支援を要請されており、WTSA-08でResolution 72として対応が決議されている。開発途上国に対する支援は本課題の柱の一つとすることが確認され、本課題のWordingの中にResolution72に関する活動を追加することになった。</p>			
<p>今会合での主な検討項目:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ K.guideの審議 ・ EMFに関するTechnical Session の開催 			
<p>他SG、他機関との関連:</p> <p>WHO, ITU-R, IEC</p>			
注意すべき諸外国の動向: ドイツからEMFの自動測定の提案がある。(C18)			
<p>提出寄書:</p> <p>なし</p>			
<p>対処方針: <input type="checkbox"/>A:達成すべき事項あり <input checked="" type="checkbox"/>B:達成すべき事項なし <input type="checkbox"/>C:静観</p> <p>発展途上国の人体曝露測定に関する技術的な支援には支持する立場で臨む。ドイツからの提案を含め測定法の議論を含めてK.guideの審議が進むと思われるが、日本での運用と齟齬が生じないように対処する。</p>			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.guide	新規	Guidance on how to manage human exposure to electromagnetic fields	C.58 (05-08)
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2010			
対処及び今会合での課題: 国際機関での検討状況との整合、国内の規定などとの整合についてチェックをしながら対処する。			

ITU-T会合への課題別対処方針
(会合名:ITU-T SG5 第二回全体会合)

提出元: 日本代表团

課題番号	課題名	原題	Resistibility of communication equipment
4		和訳	通信装置の過電圧耐力
WP1	ラポータ名(所属)		Philip DAY (Telstra,Australia)/Associate:Benjamin BARLAUD (FT, France)
課題の内容: 様々な通信装置のインターフェースに対する過電圧耐力規定や防護方法に関する検討及び既存勧告のメンテナンス			
これまでの経緯: 本課題では、雷等による通信装置の過電圧に耐力に関する勧告(K.20, K.21, K.44, K.45)について検討を行っている。前会合では、活動計画が了承され、WTSA-08に提案した項目に過電圧試験のガイダンスの作成を追加することが了承されている。またあらなた課題として、a)同軸ポートの試験方法、b)安全規格(IEC 60950)との整合、c)光ファイバ機器の雷害、等があげられた。さらに、無線基地局、電柱、屋上等に設置された機器に対する過電圧規定について審議が行われ、新たな勧告化を視野にいれた検討項目とすることが了承されている。			
今会合での主な検討項目: 前会合で了承された、安全規格と雷サージ試験の整合、ONU等光端末のサージテスト、無線基地局、電柱、屋上等に設置された機器に対する新たな過電圧規定等について寄書が提出されるものと考えられる。			
他SG、他機関との関連: IEC TC81			
注意すべき諸外国の動向: なし			
提出寄書: なし			
対処方針: <input checked="" type="checkbox"/> A:達成すべき事項あり <input type="checkbox"/> B:達成すべき事項なし <input type="checkbox"/> C:静観 安全規格と雷サージ試験の整合等、前会合での課題に関する寄書が提出されると考えられるが、まだ寄書が提出されていないため、提出されしだい内容を確認し対処したい。特に前回会合のC.57としてCIAJから提出されている安全規格と雷サージの整合に関しては、C57の考え方を基に検討を進めていくべきとの立場で対処していく。			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.44, K.20, K.21, K.45	改訂	Resistibility tests for telecommunication equipment exposed to overvoltage and overcurrent - Basic Recommendation, 他	なし
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2012年			
対処及び今会合での課題: 内線の試験法、同軸の試験法、安全規定との整合等これまでの提案事項を検討事項に含めることの提案			

ITU-T会合への課題別対処方針
(会合名:ITU-T SG5 第二回全体会合)

提出元: 日本代表团

課題番号	課題名	原題	Lightning protection of telecommunication systems
5		和訳	通信システムの雷防護
WP1	ラポータ名(所属)		Celio Fonseca BARBOSA (CPqD, Brazil) / Associate:Mrs Ying SHI (China)
課題の内容:			
本課題では、通信システムの雷防護に関するリスク管理手法の検討と既存勧告のメンテナンスを行っている。			
これまでの経緯:			
前会合では、勧告K.25,K.29,K.39,K.40,K.56等既存勧告の改訂と雷対策ハンドブックの改訂(これまでの検討結果の反映)等を活動計画として了承されている。特に、K.46の改訂については、リスク評価ソフトウェアを添付して勧告化することが有効であるとの提案があり、ラポータがその検討を行うことになった。さらに、改訂時期を2010年とすることが了承されている。また、オーストラリアから通信ビルへの直撃雷が発生した場合に、建物内のケーブルのループに大きな電圧が誘導されることが示された。審議の結果、この点をK.injuryの内容に盛り込むことが了承されている。			
今会合での主な検討項目:			
活動計画に沿って、既存の勧告の改訂案及びK.injuryの改訂草案が提出されるものと考えられる。			
他SG、他機関との関連:			
IEC TC81			
注意すべき諸外国の動向:			
特になし			
提出寄書: なし			
対処方針: <input type="checkbox"/> A:達成すべき事項あり <input checked="" type="checkbox"/> B:達成すべき事項なし <input type="checkbox"/> C:静観			
具体的な検討項目の審議については、関連する国際規格(例えばIEC62305シリーズ)との整合をとることを確認する。既存勧告の改定案については、現状では寄書が提出されていないが、提出されしだい内容を確認し、技術的な問題がないよう対処する。			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.25	改訂	Protection of optical fibre cable	なし
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2008年			
対処及び今会合での課題: 動向把握			

ITU-T会合への課題別対処方針

(会合名:ITU-T SG5 第二回全体会合)

提出元: 日本代表团

課題番号	課題名	原題	Bonding configurations and earthing of telecommunication Systems in the global environment
6		和訳	グローバルな環境における電気通信システムのアースとボンディング
WP1	ラポータ名(所属)		Claude MONNEY (Swisscom, Switzerland) / Associate:Ying XIONG (China)
課題の内容: センタビルやユーザー環境における通信設備の接地とボンディング方法の検討、及び既存勧告、ハンドブックのメンテナンスを検討する。			
これまでの経緯: 日本から、異なる給電システム(DV48V,AC,HVDC 等)の通信装置が、通信ケーブルによって接続された場合に生じる課題について指摘した。審議の結果、今後通信ビルで使用されるであろう HVDC(High Voltage DC)給電システムの接地システムの構成方法の検討が必要であることから、接地ハンドブック改訂に併せて検討を行っていくことが了承された。また韓国より「接地抵抗を測定するときの誤差に関する情報」について審議が行われた。審議の結果、より詳細な検討が必要であるため、次会合以降継続して検討していくことになった。			
今会合での主な検討項目: 今回の会合では、接地ハンドブックの改訂作業等が予定されている。			
他SG、他機関との関連: IEC			
注意すべき諸外国の動向: なし			
提出寄書: 対処方針: <input checked="" type="checkbox"/> A:達成すべき事項あり <input type="checkbox"/> B:達成すべき事項なし <input type="checkbox"/> C:静観 今後のネットワーク形態の変化に伴う、接地構成の課題に関して、引き続き接地構成法の検討の必要性について訴求する。また再度韓国からの提案があった場合には、前回議論となった点(測定例の数)を確認して、根拠が明確になっていれば賛成の立場で対応する。			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
Handbook	改訂	Handbook on Earthing and Bonding	C.44, C.52, C.53, C.66
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2009年			
対処及び今会合での課題: 積極的寄与			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.27,35等	改訂	Bonding configurations and earthing inside a telecommunication buildings (K.27) Bonding configurations and earthing at remote electronic site(K.35)	TD.288
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2009年			
対処及び今会合での課題: 動向把握			

ITU-T会合への課題別対処方針
(会合名:ITU-T SG5 第二回全体会合)

提出元: 日本代表团

課題番号	課題名	原題	Home networks
8		和訳	ホームネットワーク
WP2	ラポータ名(所属)		Mr. Ryuichi Kobayashi(NTT) / Associate:Ms Xia ZHANG (China)
課題の内容: ホームネットワークに対するEMC、過電圧、安全の規定の検討			
<p>これまでの経緯:</p> <p>本課題では、ホームネットワークのEMC問題について審議を行い、前会期には、新勧告K.74が成立している。前回会合では活動計画として、インパルスノイズを含む広帯域なノイズに対するイミュニティ規定の検討を中心に進めることとなった。その勧告K.im_bbの骨子が提案され、今後メンバーの意見を待って草案作成をすすめることになっている。また、CISPR等の他国際機関や関連するSG等へのリエゾンを行い、協力して進めていくことで合意している。</p>			
<p>今会合での主な検討項目:</p> <p>今回の会合では、K.im_bbの草案の具体的な内容について明確にするとともに、検討課題の具体的な内容とその進め方について審議が行われる予定である。</p>			
他SG、他機関との関連: SG12, 13, 15, JCA-HN, IPTV-GSI等			
注意すべき諸外国の動向: フランス, イギリス			
<p>提出寄書:</p> <p>・Draft Recommendation K.im_bb インパルスノイズを含む広帯域なノイズに対するイミュニティ規定の勧告草案を提出し、課題審議の進捗を図る。 (現在、本件に関する実験結果の寄書提出について調整中である)</p>			
<p>対処方針: <input checked="" type="checkbox"/>A:達成すべき事項あり <input type="checkbox"/>B:達成すべき事項なし <input type="checkbox"/>C:静観</p> <p>新たな勧告草案K.im_bbについて、勧告の目的を明確にし、広帯域ノイズに対するイミュニティ要件を明確にして、具体的な課題をリスト化するなどして、検討を促進する。</p>			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.im_bb	新規	Immunity to BB radiation	
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2009年			
対処及び今会合での課題: 広帯域ノイズに対するイミュニティ要件の明確化			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.h74_rev	改訂	Conducted and Radiated electromagnetic environment in home networking	—
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2012年			
対処及び今会合での課題: 静観			

ITU-T会合への課題別対処方針
(会合名:ITU-T SG5 第二回全体会合)

提出元: 日本代表团

課題番号	課題名	原題	Interference to telecommunications networks due to power systems and electrified railway systems
9		和訳	電気通信網に対する電力及び電鉄からの妨害
WP1	ラポータ名(所属)		Livio ZUCHELLI (SIRTI, Italy) / Associate:György VARJU (MT, Hungary)
課題の内容: 電力及び電鉄からの誘導による妨害, 安全に関する検討と既存勧告及び指示書のメンテナンス			
これまでの経緯: 電力設備・電気鉄道設備から受ける通信設備の誘導問題に関する検討を行っている。前会期は指示書第6巻や勧告K.68の改定が完了しており, 今会期は指示書第5巻の改定, 音声以外のサービスに対する誘導問題, 地絡時の接地電位上昇等についての検討が行われる。			
今会合での主な検討項目: 今回の会合では, 主に, 音声以外のサービスに対する電磁誘導問題についての勧告案K.intlについての審議や, 地絡時等の接地電位上昇等についての勧告案K.hvpsについての審議が行われる。			
他SG、他機関との関連: CIGRE, CIRED, UIC			
注意すべき諸外国の動向: 欧州, 米国, UIC, CIGRE等			
提出寄書: なし			
対処方針: <input type="checkbox"/> A:達成すべき事項あり <input checked="" type="checkbox"/> B:達成すべき事項なし <input type="checkbox"/> C:静観 勧告案K.hvpsにおける接地電位上昇に関する審議や, 勧告案K.intlにおける音声以外のサービスに対する誘導問題に関する審議においては, 日本の通信設備および通信サービスの提供状況との乖離がないことを確認した上で, 各国と協調して審議を進める。 また, CIGREの会合に対する参加報告やUICやCIGREに対するリエゾンの内容をを確認し, 日本の状況と乖離がないように対処する。			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
Directive Vol. V	改訂	Inducing currents and voltages in power transmission and distribution systems	
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2011年			
対処及び今会合での課題: 日本の状況との乖離がないように対処			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.hvps	新規	Protection of telecommunications installations in High Voltage Power Stations	TD 632-GEN TD 708-GEN
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2009年			
対処及び今会合での課題: 日本の状況の反映			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.int	新規	Limits of interference on telecommunication transmissions on copper other than speech	TD 483-GEN TD 505-GEN TD 564-GEN TD 631-GEN
勧告案の合意状況または合意予定時期： 2010年			
対処及び今国会での課題： 日本の状況の反映			

ITU-T会合への課題別対処方針

(会合名:ITU-T SG5 第二回全体会合)

提出元: 日本代表团

課題番号	課題名	原題	Outside and indoor network elements for broadband applications
10		和訳	広帯域アプリケーションに対する屋内外のネットワーク構成
WP1	ラポータ名(所属)		Ho Seok OH (KT, Korea) / Associate : Zander ARAUJO (Brazil)
課題の内容: 広帯域ネットワークにおけるメタル網の設計・建設および試験・保守方法に関する検討			
これまでの経緯: 前回の会合において、旧SG6で検討されていた広帯域アクセス網に関する課題のうち、メタル網に対する課題についてはQ10/SG5で継続して検討されることが了承されている。課題10では、広帯域ネットワークの構成要素に対する試験方法等を規定する勧告案K.bb_testや、既存勧告L.19, L.75, およびL.76の改定について検討される。			
今会合での主な検討項目: 今回の会合では、主に、広帯域ネットワークの構成要素に対する試験方法等を規定する勧告案K.bb_testに関する審議が行われる。また、既存勧告L.19, L.75, およびL.76の改定についても検討される。			
他SG、他機関との関連: 特になし			
注意すべき諸外国の動向: 特になし			
提出寄書: なし			
対処方針: <input type="checkbox"/> A:達成すべき事項あり <input checked="" type="checkbox"/> B:達成すべき事項なし <input type="checkbox"/> C:静観 本課題については、動向把握とし、日本の状況と不合理な点がないか確認しながら対処する。			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.bb_test	新規	Test procedures and specifications for broadband network elements such as connection hardware, cables, wires and other elements	
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2011年			
対処及び今会合での課題: 動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L.19	改訂	Multi-pair copper network cable supporting shared multiple services such as POTS, ISDN and xDSL	TD 221-GEN
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2010年			
対処及び今会合での課題: 動向把握			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L.75	改訂	Test, acceptance and maintenance methods of copper subscriber pairs, indoor network and structured cabling	
勧告案の合意状況または合意予定時期： 2011年			
対処及び今会合での課題： 動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L.76	改訂	Developing the Copper loop requirements including indoor and structured cabling for various access technologies	
勧告案の合意状況または合意予定時期： 2012年			
対処及び今会合での課題： 動向把握			

ITU-T会合への課題別対処方針

(会合名:ITU-T SG5 第二回全体会合)

提出元:日本代表团

課題番号	課題名	原題	Safety in the telecommunications networks
11		和訳	電気通信網における安全
WP1	ラポータ名(所属)		Philip DAY (Telstra, Australia) / Associate:Zhihui WANG (ZTE, China)
課題の内容: 電気通信設備に対する安全規定と安全作業手順に関する検討、及び既存勧告のメンテナンス			
これまでの経緯: 安全に関する規定及び作業手順等について検討を行っている。前会期では、新勧告草案K.75(K.interface)が成立している。今会期では、通信設備利用時に雷サージが侵入した場合の安全、及び商用周波数磁界のばく露に関連する課題の審議を行う予定である。			
今会合での主な検討項目: 前回の会合では、K.50,K.51の改訂等を含む今後の活動計画を提示し了承されている。K.51の改訂については、前会期に韓国から提案されたIEC規格との整合を図る検討を行うとともに、今回の会合で中国から提案された害虫等被害による安全の問題を検討することになった。また安全電圧とシステムの実効キャパシタンスの関係について再検討することになった。			
他SG、他機関との関連: IEC TC108			
注意すべき諸外国の動向: なし			
提出寄書: なし			
対処方針: <input type="checkbox"/> A:達成すべき事項あり <input checked="" type="checkbox"/> B:達成すべき事項なし <input type="checkbox"/> C:静観 IECの規定との整合性について確認し、不合理な点のないように対処する。また害虫等による被害等の新しい課題については検討の内容を確認の上、性急な結論に至らないよう対処する。			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.inj	新規	Reduction of risk of injury to people due to overvoltages and overcurrents on telecommunication lines due to lightning	
勧告案の合意状況または合意予定時期:2010			
審議結果及び今後の課題:安全規定との整合性についてさらに精査する			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.mag	新規	Evaluation techniques and working procedures for compliance with limits to power-frequency magnetic field exposure of network operator personnel.	(05-08 period, TD.680)
勧告案の合意状況または合意予定時期:2009年			
審議結果及び今後の課題:日本の状況の把握			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.51	新規	Safety criteria for telecommunication equipment	
勧告案の合意状況または合意予定時期:2010			
審議結果及び今後の課題:動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.50	新規	Safe limits of operating voltages and currents for telecommunication system powered over the network	
勧告案の合意状況または合意予定時期:2010			
審議結果及び今後の課題:動向把握			

ITU-T会合への課題別対処方針

(会合名:ITU-T SG5 第二回全体会合)

提出元: 日本代表团

課題番号	課題名	原題	EMC telecommunications Recommendations
12		和訳	電気通信のEMC勧告
WP2	ラポータ名(所属)		Paolo GEMMA (Huawei, China) / Associate:Boban PANAJOTOVIC (Serbia)
課題の内容: 新たな通信装置、通信サービスに対応したEMC規格の検討と既存EMC勧告のメンテナンス			
これまでの経緯: 前回会合では、1GHz以上のEMC規定であるK.highの策定に向けた検討等を含む、活動計画が了承されている。また中国からパケット伝送ネットワークにおけるEMC規程についての提案があり、新勧告K.NGNの検討項目の一つとすることが了承されている。さらに、K.48のAppendixとして検討している装置近傍での無線端末の利用を想定したイミュニティ試験規定に対し、日本の提案した手法について検討を行うことが了承されている。			
今会合での主な検討項目: 今回の会合では、前会期からの継続課題である1GHz以上(K.high)のEMC規定の検討や前回150kHz以下K.76(K.low)の改訂等を中心に審議が行われると思われる。			
他SG、他機関との関連: IEC TC77, CISPR			
注意すべき諸外国の動向: 特になし			
提出寄書: なし			
対処方針: <input checked="" type="checkbox"/> A:達成すべき事項あり <input type="checkbox"/> B:達成すべき事項なし <input type="checkbox"/> C:静観 K.highやK.76の改訂は、現状の通信機器のEMC問題と深く関わるため、今回の会合で検討内容が具体化されるよう、意見を述べていく。さらに無線装置利用を想定したイミュニティ試験法については、引き続き簡易でかつ現実に近い測定方法となるように提案を行っていく。また、他の国際機関(IEC, CISPR)等との関係についても注視し、国際規格間で齟齬のないように対処する。			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.high	新規	EMC requirement for telecommunication quipment above 1GHz	
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2008年			
対処及び今会合での課題: 日本における事例の収集、規定値の提案に向けた事例の分析			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.48 Appendix	追加	Elevated Radio Frequency Radiated Immunity Level for Telecommunication Network Equipment to Protect against Interference due to nearby use of Mobile telecommunication terminals	
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2008年			
対処及び今国会での課題: 日本における無線通信端末の調査、分析			

ITU-T会合への課題別対処方針

(会合名:ITU-T SG5 第二回全体会合)

提出元: 日本代表团

課題番号	課題名	原題	Protective components and assemblies
13		和訳	防護素子とアセンブリ
WP1	ラポータ名(所属)		Gerhard ACKERMANN (DT, Germany) / Associate:Michael MAYTUM (UK)
課題の内容: 過電圧防護素子とそのアセンブリに対する要求条件、試験方法の検討			
<p>これまでの経緯:</p> <p>過電圧防護素子の試験方法について審議を行っている。前会期の継続として防護素子毎に10の勧告作成を予定している。</p>			
<p>今会合での主な検討項目:</p> <p>今会期の検討課題と方針について了承され、継続案件である勧告びK.12(GDT素子の特性)、K.28,(半導体過電圧防護素子)やK.ocp(自己復旧型過電圧防護素子)等の改訂案について審議が行われた。</p>			
<p>他SG、他機関との関連:</p> <p>IEC SC37等</p>			
<p>注意すべき諸外国の動向:</p> <p>なし</p>			
<p>提出寄書:</p> <p>なし</p>			
<p>対処方針: <input type="checkbox"/>A:達成すべき事項あり <input type="checkbox"/>B:達成すべき事項なし <input checked="" type="checkbox"/>:静観</p> <p>今会合では引き続き継続案件である8つの防護素子に関する勧告の審議が行われる。基本的には静観するが、審議の状況を把握し技術的な問題がないように対処する。</p>			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.12	改訂	Characteristics of gas discharge tubes (GDT) for the protection of telecommunication installations	C43 (05-08)
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2008年			
対処及び今会合での課題: 動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.var	新規	Characteristics of metal dioxide varistors for the protection of telecommunications installations	C38, C41, C61
勧告案の合意状況または合意予定時期: 2008年			
審議結果及び今後の課題: 動向把握			

(情報通信技術分科会 ITU-T部会 委員会 様式3)

ITU-T会合への課題別対処方針

(会合名:ITU-T SG5 第二回全体会合)

提出元: 日本代表团

課題番号	課題名	原題	Guides and terminology
14		和訳	ガイドと用語の定義
SG5		ラポータ名(所属)	Mr. Michael MAYTUM (Bourns Ltd., UK) / Associate: György VARJU (Hungary)
課題の内容:			
勧告や指示書、ハンドブックで使用する用語の定義の作成とKシリーズ勧告のガイダンスの作成			
これまでの経緯:			
勧告Kシリーズの中で使用されている用語の定義について検討を行っている。制改訂された勧告の活用方法や用語の定義についてまとめて、Kシリーズ勧告のガイドと用語の定義集を作成している。			
今会合での主な検討項目:			
<ul style="list-style-type: none"> ・前会期に成立したKシリーズ勧告のガイダンス更新 ・前会期に成立したKシリーズ勧告で使用されている用語の用語集への追加 SG5、他SG、IEC			
他SG、他機関との関連:			
IECボキャブラリー			
注意すべき諸外国の動向:			
なし			
提出寄書:			
対処方針: <input type="checkbox"/> A:達成すべき事項あり <input type="checkbox"/> B:達成すべき事項なし <input checked="" type="checkbox"/> C:静観 本課題は、今会期中に勧告化された勧告、ハンドブック等を活用し、用語の定義やガイダンスを更新していくことが目的である。基本的には静観するが、用語の定義やガイダンスに不整合や不合理な点が生じないよう対処する。			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K-series vocabraly	改訂	K-series vocablary	
勧告案の合意状況または合意予定時期:09-12会期内適宜			
対処及び今会合の課題: 動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
Guide to K-series Rec.	改訂	Giuede to K-series Recommendations	
勧告案の合意状況または合意予定時期:09-12会期内適宜			
対処及び今会合の課題: 動向把握			

ITU-T会合への課題別対処方針

(会合名:ITU-T SG5 第二回全体会合)

提出元: 日本代表团

課題番号	課題名	原題	Security of telecommunication and information systems regarding electromagnetic environment.
15		和訳	電磁環境に関する情報通信装置のセキュリティ
WP1&WP2	ラポータ名(所属)		Tetsuya Tominaga(NTT)/Associate: H.Sekiguchi(NICT)

課題の内容:

- ①高々度電磁パルスや高出力電磁パルスに対する防護方法、情報漏洩の検討と勧告化
- ②セキュリティ評価方法(シールド等)や対策方法の検討と勧告化

これまでの経緯:

電磁環境に関連した情報通信装置のセキュリティについて検討を行っている。前会期において、K.hemp (HEMPの通信システムへの要求条件)、K.hpem (HEPMの通信システムに対する脅威)、K.sec (電磁波セキュリティに関する適用ガイド)、K.leakage (電磁波漏洩問題の試験法)、K.secmiti (電磁環境に起因するセキュリティ問題の緩和法)の勧告案の策定を行っており、K.hempについては前会合において勧告化が承認された。

今会合での主な検討項目:

・継続案件であるK.hpemの内容についての審議が中心になると考えられる。

他SG、他機関との関連:

IEC SC77C, SG17, ITU-R等

注意すべき諸外国の動向:

特になし

提出寄書:

K.hpem (HEPMの通信システムに対する脅威)の修正案

対処方針: A:達成すべき事項あり B:達成すべき事項なし C:静観

今回の会合では、K.hpem (HEPMの通信システムに対する脅威)の完成を優先することが了承されているため、集中的に審議を行いコンセントを図る。なお、HEMPの略語は、昨今IECにおいて同じ意味を示す略語としてIEMI(Intentional ElectroMagnetic Interference)に置き換えられていることを踏まえて、寄書中ではこの用語に変更、統一したい。本寄書の内容には、平成19年度総務省戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE)073103006「情報通信ネットワークインフラにおける悪意ある電磁波攻撃に対する評価および防護技術に関する研究」のもとに行なわれた研究成果を反映させた。

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.hpem	新規	Application of requirements against HPEM to telecommunication systems	TD.691

勧告案の合意状況または合意予定時期: 2009年

対処及び今会合での課題: IECでの検討との整合性、脅威の調査・分析

ITU-T会合への課題別対処方針

(会合名:ITU-T SG5 第二回全体会合)

提出元: 日本代表团

課題番号	課題名	原題	EMC requirements for the Information Society
16		和訳	情報社会のEMC
WP2	ラポータ名(所属)		Li XIAO (China) / Associate : Lin GUO (China)
課題の内容:無線通信システム等による情報化社会におけるEMC問題の検討。			
これまでの経緯: 各種無線システムにおける EMC 問題を検討している. 前会合でから勧告 K.emc(デジタル無線の動作による2.4/5GHz 帯域の電磁環境特性)がコンセントされ、引き続き、勧告 K.deg(集中した端末機器の性能評価のための相互干渉試験方法)の作成が予定されている			
今会合での主な検討項目: ・今会合ではK.degの提案が行われ審議が開始される予定である.			
他SG、他機関との関連: SG5、他SG、ITU-R			
注意すべき諸外国の動向: なし			
提出寄書: なし			
対処方針: <input type="checkbox"/> A:達成すべき事項あり <input checked="" type="checkbox"/> B:達成すべき事項なし <input type="checkbox"/> C:静観 K.degについて、勧告案が提案されるよていであるが、まだ入手できていない。入手次第内容を検討し、影響の大きさをチェックするとともに、必要性、現状の運用との齟齬がないかチェックを行い、適切な勧告となるように対処する。			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.emc (K.79)	新規	The electromagnetic characterization in the 2.4/5GHz band created by radio services	TD 43rev3
勧告案の合意状況または合意予定時期:2008-11			
対処及び今会合の課題:エディターからAAPへの最終版が未提出			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
K.deg	新規	Mutual-interference Test Requirements for Performance Degradation Evaluation of Converged Terminal Device	
勧告案の合意状況または合意予定時期:2010			
対処及び今会合の課題:動向把握			